

質問の件名及び質問の趣旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 西中を廃校にする市長の責任 (60分)</p> <p>西中学校が市民的な議論を経ずに、いとも簡単に廃校にされようとしています。鶴ヶ島市民の意思を決定する鶴ヶ島市議会においても、一度たりとも議論がなされずに廃校となっていく西中学校とは、市にとって、そして地域にとって、どのような存在であるのでしょうか。鶴ヶ島市を想う一人の議員として残念で悲しい思いであります。</p> <p>鶴ヶ島市の小・中学校は「地域に開かれた学校」として地域と密接に関係づけられおり、地域政策においては、地域の課題は地域で解決するとしている以上、地域にとって重要な課題である学校の統廃合については、市長は全地域的な議論を経て方針を決定すべきです。更に、学校の統廃合は、鶴ヶ島市の将来を決める政策・施策に関係する重要案件であり、当然として市議会での議論が必要であると私は考えますが、齊藤市長においてはそのような考えはないようであり、議長も議会として対応はしないとの考えのようでありますので、一議員としての対応となってしまいますが、以下の質問をします。</p> <p>(1) 学校の統廃合に関するこれまでの議論の経緯について (2) 市長の示した学校の統廃合計画の意味と位置づけ。 (3) 西中学校の廃校に関する地域的な議論と議会での議論。 (4) 国における適正なクラス数の定義について (5) 施設の維持管理経費の問題と学校の統廃合の関係。 (6) 市政経営、地域振興と学校の位置づけについて (7) 埼玉県内における学校の統廃合の状況について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>